

散歩道

さんぽみち

こんなところに散歩道

「繊維の町」として知られる
倉敷市児島地区。

国産ジーンズもこの町で生まれ、
今では旧商店街のにぎわい再生にまでいかされるように。
甦る街の活気と元気をたずねて、ぶらり散歩道。

児島ジーンズストリート周辺

はつらつ人生「今日も元気で！」

平らかに戻ることのできる時間と空間。
良寛さまと茶の湯が
大切なことを教えてくれました。

器楽堂老舗 器楽堂 ゆう子さん

アーバンNEWS

人形供養祭 in 老松ホール
人形供養祭 in 西川原ホール

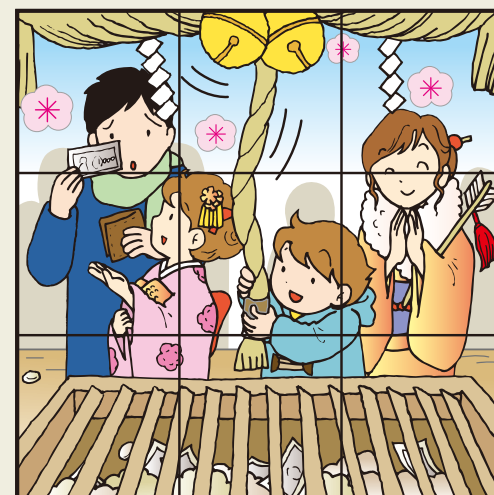
ごはんの時間⑭

カツ井 野村

アーバンホール・コミュニケーションマガジン「さんぽみち」Vol.61
編集発行/有限会社アーバンホール 倉敷市堀南805-1 TEL.086-426-7788 FAX.086-424-7474 ●2019年11月発行

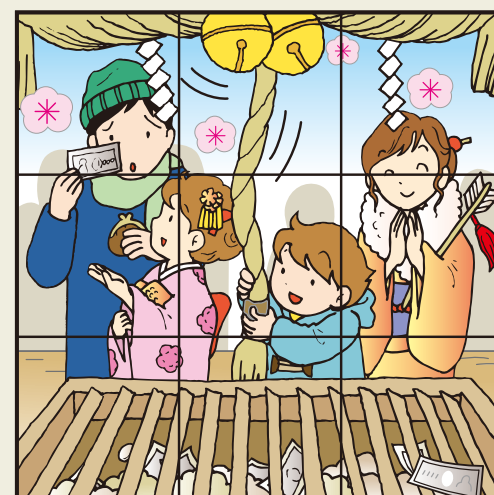
無料で
お持ち帰りください。

クイズ《間違い探し》



9コマのうち8コマに
1つずつ間違いがあります。
間違いのないコマを選んで、
ハガキまたはFAXで
お送りください。
正解者の方にささやかながら
抽選で粗品を
進呈させていただきます。

A	B	C
D	E	F
G	H	I



Vol.60
クロスワードパズルの答え

モ	ミ	ジ	ガ	リ
1 エ	2 イ	3 ガ	4 ミ	5 ソ
6 ジ	7 ス	8 ケ	9 ツ	10 チ
11 ブ	12 ツ	13 ク	14 エ	15 キ
16 ヨ	17 リ	18 ア	19 ル	20 ガ
21 シ	22 フ	23 ツ	24 ミ	25 ガ
26 キ	27 ハ	28 ガ	29 キ	30 ラ
31 イ	32 ス	33 コ	34 メ	35 ス

表紙の風景



全国各地で「商店街の賑わい再生」
の取り組みがあるよう。ここ児島味野
の旧商店街筋もその例にもれませんが、
発想の転換が生み出した唯一の
成功例のように思えます。時代の変化
に取り残されながら、一歩先の未来を
考えた街づくり…。その魅力にふれた
散歩道でした。

編集後記

『散歩道』54号でも紹介した倉敷市
玉島に伝わる茶の湯文化。玉島の港
周辺にはお茶の専門店や茶席に欠
かせない和菓子の老舗が古くから営
まれています。禅と茶の湯の奥深さに
触れると、人々の間で長く受け継が
れてきた理由がわかります。そして、安心
できる場所のあることがいかに大切か
を感じました。

■申込み・お問い合わせはアーバンホールまで

お便りやお問い合わせ・間違い探しの回答はこちらまで。

アーバンホール
URBAN HALL

〒710-0841 倉敷市堀南805-1 アーバンホール倉敷「散歩道」編集部
TEL 086-426-7788 FAX 086-424-7474

ご応募頂いた個人情報(住所・氏名・電話番号)は、アーバンホールが本企画に必要な連絡を行うために利用いたします。
なお、個人情報についてはアーバンホールが責任を持って管理いたします。

<http://www.urbanhall.co.jp>

アーバンホール

検索



堀南ホール
☎ (086) 426-7788
倉敷市堀南805-1



老松ホール
☎ (086) 430-2299
倉敷市老松町2-6-10



中庄ホール
☎ (086) 425-9900
倉敷市中庄15-1



藤戸ホール
☎ (086) 420-0440
倉敷市藤戸町天城607-1



福田ホール
☎ (086) 450-2211
倉敷市東塚5-18-2



玉島ホール
☎ (086) 523-1177
倉敷市玉島爪崎1073



児島ホール
☎ (086) 474-9988
倉敷市児島駅前3-28



児島上の町ホール
☎ (086) 472-7733
倉敷市児島上の町2丁目2-45



岡山福吉ホール
☎ (086) 902-1122
岡山市南区福吉町31-20



岡山市西ホール
☎ (086) 244-3377
岡山市南区米倉31-3



西川原ホール
☎ (086) 271-0011
岡山市中区西川原125-1

24
時間体制

ホール使用料無料
光熱費無料

こんなところに 散歩道 児島ジーンズストリート周辺

昭和の高度成長期、日本の繊維景気の一部を支えた児島には全国からの集団就職の女子があふれ、かつての味野商店街はピーク時、2百軒以上の店が軒を連ね活気に満ちていたそう。しかし昭和63年の瀬戸大橋開業のころにはいわゆる「シャッター通り」化が進み、賑わいはすっかり過去のものに…。そこで町の有志がアイデアを出し合い、平成21年ジーンズをテーマにした活性化に着手。今では旧野崎家住宅前付近から味野第2公園までの4百メートル程に、地場ジーンズメーカーの販売店や飲食店、雑貨店などの誘致がすすみ、日本全国から、また海外からの幅広い層の人たちを引き付けるようになっていきます。



「繊維の町」として知られる倉敷市児島地区。
国産ジーンズもこの町で生まれ、
今では旧商店街のにぎわい再生にまでいかされるように。
甦る街の活気と元気をたずねて、
ぶらり散歩道。

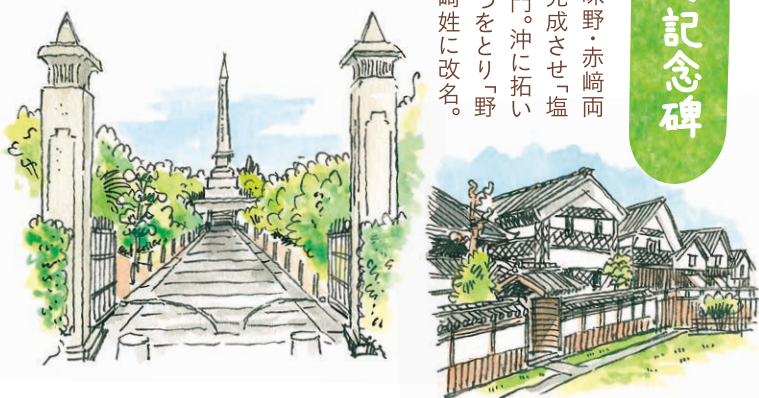
インスタの映える町

階段や改札、コインロッカーなどあちこちにジーンズの柄やデザインがあしらわれる児島駅。バスやタクシーにもジーンズの風合いやアイテムが生かされ、この町に訪れた瞬間からジーンズたちは期待感いっぱい。60年代から定着したジーンズルックのファンは、もう上は60〜70代。本物を求める中高年齢の来訪もめずらしくありません。もちろんインスタ・スポットで自撮りの若者の笑顔も。



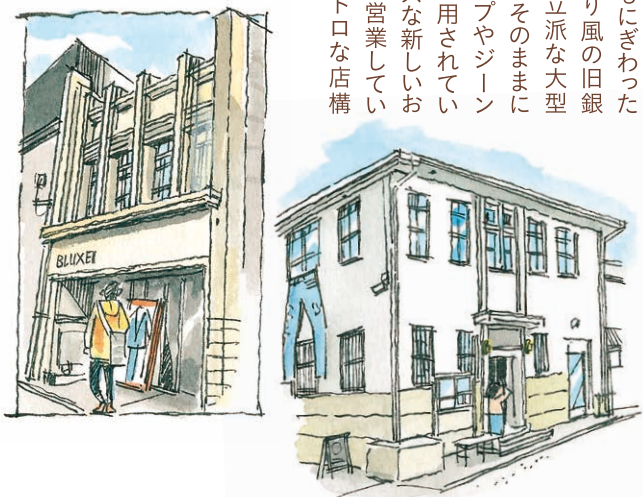
野崎邸と野崎記念碑

江戸時代後期に当時の味野・赤崎両村海岸先に広大な塩田を完成させ「塩田王」の道を歩んだ武左衛門。沖に拓いた新開を両村の名の一字ずつをとり「野崎浜」と名付け、自らも野崎姓に改名。昭和40年ごろまで現在の児島駅付近には見渡す限りの塩田風景がひろがっていました。新田開発も手がけ財を成したその武左衛門が天保四年(1833年)より建設した大邸宅。ジーンズストリート南端付近には見事な石造大尖塔の立つ野崎記念碑が。



よく見れば…レトロ建物探訪

かつて児島で最もにぎわった商店街だけに石造り風の旧銀行や写真館などの立派な大型建築も残り、外観はそのままだにアンティークショップやジーンズショップとして活用されています。またハイセンスな新しいお店の隣や間に、今は営業していないながら昭和レトロな店構えや看板が残り、新旧のコントラストが独特の雰囲気。新しい装いの店舗にも、よく見れば往時のデザインが生きていたりもします。



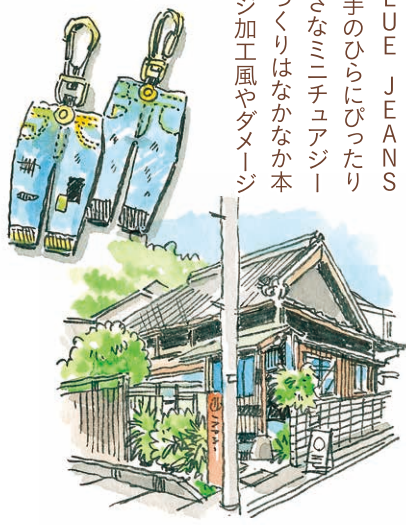
往時のジーンズストリートは「下津井往来」

ジーンズストリートの道筋は、実はかつて岡山城下から野田・西市・早島・茶屋町を通って下津井港へと結ぶ「下津井往来(金毘羅みち)」の一部でした。江戸時代中ごろには、児島瑜伽大権現との両参りも盛んになり、商人や参拝者の姿が絶え間なかったよう。あたりが商店街としてにぎわった時代も二十六番奥之院や天満宮、持寶院、地藏堂などの社寺祠は大切に祀られ、みちすがらには、小さな遍路道標などが今もそのまま。



お土産見つけた!!

本格的なオリジナルジーンズを探して、あの店、この店へ。そんなショッピングの途中に出会うのが楽しい小物たち。JAPAN BLUE JEANSで見つけたのが、手のひらにぴったりおさまるこの小さなミニチュアジーンズ。といってもつくりはなかなか本格的で、ビンテージ加工風やタメージパンツ風などのこだわりも徹底。キーホルダーやアクセサリとして、お土産にもぴったり。



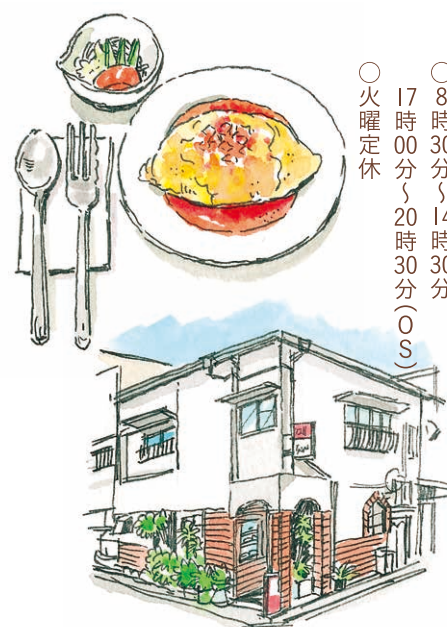
ちょっと一息・ジーンズの塩ようかん

創業一〇〇年を超える児島の老舗「塩尻喜月堂」。定番人気の「塩羊羹」は、野崎浜の海風が香るようなほんのりの塩味が上品な甘さを引き立てくせになるおいしさ。ストリートを盛り上げようと考えたのが、このジーンズをつかった可愛いパッケージ。地元産の塩を活かした食べやすいサイズの「塩まんじゅう」もお土産に人気の商品だそう。



ちょっと一息・町の洋食「ちくりん」

味野商店街がにぎわっていた時代から、町の移り変わりを見続けてきた洋食店。コック帽をきちんと被ったマスターのていねいな仕事は、今も昔もかわらない。手早く美しく半月にまとめられるオムライスを彩るのは手作りのトマトソース。夜もやっている「サービスランチ」も一品品にまごころこもる、ほっとするおいしさ。



はつらつ人生『今日も元気で!』

やがて元に戻っていく。人間の心も、もともとは平らかになっていく性質なのに、日々さまざまな出来事に遭遇し、波打ちます。お茶はそこを平らかにして、本来の自分に戻っていくための場所であり作法なんですね。作法を守らなければいけないではなくて、守れば自然と元の自分に戻っていくんです。」



「釜をかける。火を入れる。やがてお湯が湧いて。そんないきとした時間と空間に、ざわざわとした心を元に戻してくれる力があるんだと思います。」



客が茶席に招き入れられるまで待つ茶庭にて。

心を元に戻す方法は すぐそばにある。

不思議な縁で茶の湯の世界に入り、良寛さまと出会い、周りの勧めもあって、ゆう子さんは良寛さまに関する本を出版することになりました。玉島育ちの自分に何が書けるかと考えた時、母方の祖父が描いていた良寛さんの絵を見ながら、祖父母の心を受け継いで書かせてもらおうと思ったそうです。そして行き着いたのが「霞立つ 長き春日を 子どもらと手毬つきつ この日暮らしつ」という良寛さまの代表的な和歌でした。

「子どもらと手毬つく、その心は、お茶も一緒ですよ。手渡すと空気がつながっていく。学校の教頭をしている祖父は、子どもとどのように接するかということに常に思っていた人でした。次の世代に温かい手のぬくもりで伝えていくということ、昔も今も変わらないんですね。」

そして、本を書いていて繰り返し浮かんできたのが、本来の自分に戻ろうということでした。



「円通寺から港の北前船を見下ろし、遠い故郷に思いをはせていたのではないだろうか。」
港を見下ろす絵を表紙にした著書「ゆるり良寛様〜玉島円通寺のゆかり〜」が2019年2月に考古堂書店から発売の予定。

霞立つ
長き春日を
子どもらと
手毬つきつ
この日暮らしつ

良寛さまと円通寺

良寛さま(1758〜1831)は越後国(新潟県)出身の禅僧であり歌人。円通寺は元禄11年(1698年)に開山した曹洞宗の禅寺で、第10代国仙和尚の代に、22歳の良寛さまが10数年修行された。国仙和尚亡き後、諸国を行脚し、生涯寺を持たなかったと言われる。聖良寛奉賛大茶会は60年以上続く伝統行事。



母方の祖父が描いた絵を絵葉書に。良寛さまの温かい人柄が伝わってくる。

「茶禪一味」という言葉がありますが、禪と共に起こったお茶の精神的な側面は、元の自分に戻るということ。これは、今の時代の人々には、とても難しいと思います。情報はいっぱいあるのに全然満たされない。そして、心がすさんだ時にそれを解消する方法を遠くに求めてしまいがちですが、実はすぐそばにあって、私にとってそれがお茶でした。」

現代人は頭でつかちになって、〇〇でなければならぬと思ひ込み、苦しんでいることがたくさんあるのかもしれない。一つひとつの縁がとてもありがたいというゆう子さん。「平らかに戻ると、もう一度歩み出すことができるということ。私はお茶で教えられています。」という言葉が印象的でした。

平らかに戻ることのできる時間と空間。
良寛さまと茶の湯が
大切なことを教えてくれました。

器楽堂老舗

器楽堂 ゆう子さん



茶の湯文化が栄えた玉島に 代々続く老舗を継ぐ。

倉敷市の港町・玉島で独自に受け継がれてきた「茶の湯文化」が今、注目されています。玉島の港は北前船の寄港地の一つで、高梁川を下ってきた高瀬舟から東北の産物を積み替える重要な港でもありました。周辺には岡山藩の領地もあり、主に海産物や肥料の取引でかなりの賑わいを見せていたそうです。

江戸時代後期になると、玉島の商家を中心に茶の湯が広まり、最盛期には約400の茶室があったと言われています。茶室は屋敷の奥にあり、お茶のほかに書や謡、香などを楽しみ、精神的にも互いを高め合いました。京都から茶道の宗匠が直接教えに来ていた家もあり、町にも京文化の影響があったとか。

そんな玉島で代々続くのがお茶の専門店、器楽堂老舗です。江戸時代末期に創業し、独自のスタイルを持つ玉島の茶の湯文化と共に歩んできました。



玉島には和菓子の老舗も古くから営まれている。

茶の湯の世界をもっと
身近に楽しんでもらいたい。

器楽堂老舗は、もっと気軽に多くの人に茶の湯を楽しんでもらおうと、お茶会やお点前の体験会を主宰しています。

「お茶はもともと、おばあちゃんやお母さんが家で点てていて、子どもも自然と身に付けていったもので、静かにしなければいけない、正座を崩してはいけないといったイメージは、戦後に広まったのだと思います。釜のお湯が沸く音を静かに聞いていた。そんな方にはその気持ちに汲み取って、みんなで和やかに過ごしたい方たちとはまた違った時間を過ごす。お茶会はそういう変幻自在のものなんです。」

お母様と共に器楽堂を営む娘のゆう子さんは、茶の湯を楽しむことで得られる心の安らぎも大きいと言います。

「お茶を頂くと、スーッと精神が鎮まり、穏やかになったり統一されたりします。釜のお湯に杓を入れると水面が波打って、



「茶会を主宰する者は空間を作り出す側で大変ですが、これも一つのご縁です。お点前の型にはまるからこそ、心が解放されます。」

器楽堂老舗(きらくどうろうほ)

江戸時代末期創業。茶道具、お茶、花器などの販売と茶の湯文化の継承に努める老舗。定期的に開く月釜や体験会、催しへの参加で、気軽にお茶を楽しむ暮らしを提案している。

●所在地・お問い合わせ
岡山県倉敷市玉島中央町1-17-5
TEL:086-522-2309

器楽堂老舗

検索



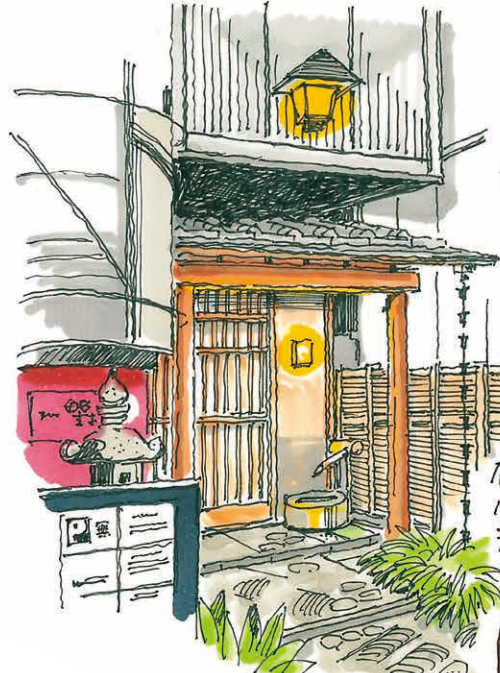
初心者の方でも気軽に参加できるお茶会です。
予約なしでお越しいただけます。

五雲亭茶会

- 毎月第4日曜日 9時〜18時 1回約1時間
- 参加費:500円
- 場所:器楽堂老舗

良寛荘 お抹茶点て方体験

- 毎月第1日曜日 午後1時〜、午後2時〜
- 参加費:500円
- 場所:良寛荘(倉敷市玉島柏島478)



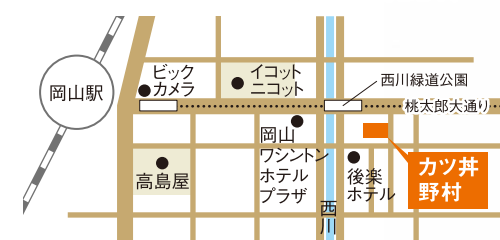
桃太郎大通り近くのビル1階にあります。中で食券を買って注文するシステム。

店内に飾られているのはバスや路面電車で流れるおなじみのフレーズ↓

イラストレーター 藤井が行く ちょっと寄り道 ごはんの時間 17

夕方5時半の開店と同時に満席に。最近では外国人観光客も多く訪れる老舗です。昭和6年に「野村食堂」として創業。メニューのつづいた「ドミグラスソースカツ丼」が評判となり、三代目からカツ丼の専門店になりました。初代が帝国ホテルのシェフから教えてもらったソースは秘伝の「ドミグラスソース」として親から子へ、子相伝。当時ハイカラだった洋食のおいしいソースとごはんといっしょに、多くの人に味わってもらいたいという初代の思いも受け継ぎ、手頃な価格に。先代が体調を崩した時、現在30歳の息子さんはまだ高校生で、そこから3年かけて渾身の想いで伝授し、四代目として大切に引き継いでいます。

カツ丼 野村
岡山市北区平和町1-10
TEL / 086-222-2234
営業時間 / 平日11:00~14:30 17:30~21:00
土日祝11:00~21:00
定休日 / 無休(年末年始を除く)
駐車場 / 近隣のコインパーキングを利用
JR岡山駅東口から歩いて15分ほどです



＊メニューは「ドミグラスソースカツ丼」と「玉子とじカツ丼」の2種類のみ。＊ソースかヒレ、ごはんの量などが選べます。ソースと合う脂の少ない豚肉を使用。＊国産米や岡山県産のキャベツ、しっかりと出汁をとった味噌汁など、優しい味です。＊単品のお持ち帰りもOK。電話予約すれば待たずに持ち帰れます。

2018年12月取材・価格はすべて税込

カツ丼 2つで大盛り
丼の量 1,300円

孫膳 2つで大盛り
丼の量 1,500円

ハロース 1,000円
ヒレ 1,000円



ドミグラスソースカツ丼と玉子とじカツ丼のセット

人形供養祭 in 老松ホール

開催日 10月20日
開催場所 老松ホール




人形供養祭 in 西川原ホール

開催日 11月18日
開催場所 西川原ホール




私たちは、地域の方との交流が楽しめるよう、様々なイベントを行っています。

多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

- ✓ 祭壇セット 10%割引 (祭壇セット料金30万円から適用)
 - ✓ ホール使用料・光熱費 無料 (式場・控室・通夜室)
 - ✓ 花環 20%割引
 - ✓ 生花・盛籠等 10%割引 (他社の自宅葬の場合でも割引可)
 - ✓ 葬儀の際に入会金5千円は葬儀費用に充当5千円割引
 - ✓ ギフト・法要/商品券1万円 仏壇・仏具/商品券1万円 (祭壇セット料金30万円から適用、葬儀後にご利用できます)

- ✓ 法要祭壇 (生花・果物付) 20%割引 例) 仏式祭壇 40,000円→32,000円 (一升餅もサービス)
 - ✓ ギフト商品を通常割引より 5%割引 (中元・歳暮・内祝・満中陰志・粗供養品※一部除く)
 - ✓ 病院・施設・自宅からの寝台車搬送 無料 (倉敷市・岡山市)
 - ✓ 葬儀の際のおしぼり・献茶等 サービス
 - ✓ 仏壇・仏具・墓石 5~20%割引 (中原三法堂全店)
 - ✓ その他、指定店での割引や優待があります。
- ※全て税抜き価格表示です。

すでに他社の会員になっておられる方でも、どうぞご相談ください。

互助会や他社の会員の方がアーバンホールを利用される場合 ➡ **解約手数料は当社が負担いたします!!**

ロイヤルカード会員募集中!

お供物・花環からギフトや法要商品・仏壇・墓石等、割引特典がいっぱい!! (三親等の範囲で適用になります。)



入会特典 ただいまご入会いただいた方には上記のうちいずれか1点をプレゼント! ※写真はイメージです。

5,000円のみ

入会金1回限り!

年会費・月会費 一切不要

